

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部 海洋情報監理課

課長 木村 琢磨

098 - 867 - 0118 (内線2510)



第十一管区海上保安本部
平成27年6月15日

「世界水路の日」を記念してパネル展示を行います

毎年6月21日は「世界水路の日」です。

「世界水路の日」とは、海図の刊行などの水路業務の重要性を広く一般の人々にお知らせすることを目的として、国連で定められた日です。

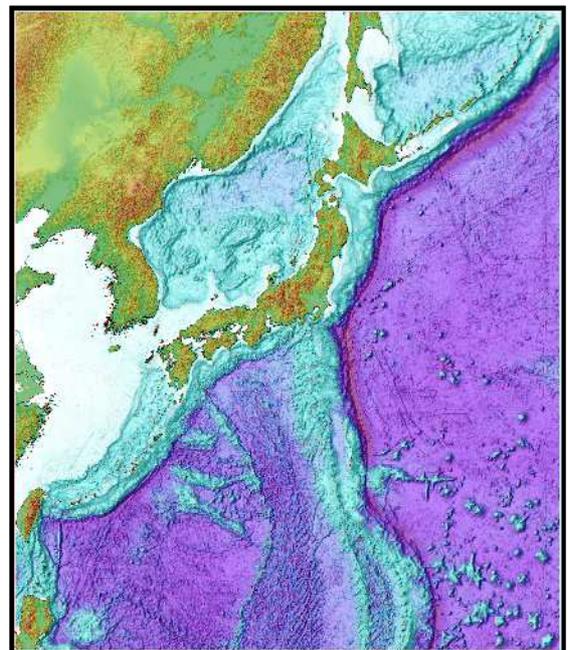
そこで、第十一管区海上保安本部では、水路業務を理解してもらうためのパネル展示を行います。

実施期間 平成27年6月17日(水)～6月24日(水)

実施場所 泊ふ頭旅客ターミナルビル(とまりん)1階ホール
渡嘉敷島連絡事務所付近

展示内容

- ・世界水路の日の紹介
- ・海底地形の測り方
- ・海図で見る那覇港の今昔
- ・3D海底地形図
- ・伊江島付近鳥瞰図



世界水路の日 World Hydrography Day

6月21日は「世界水路の日」です。

由来：1921年(大正10年)6月21日の「**国際水路機関(IHO)**」
設立を記念し、平成17年の国連総会で採択

(※ IHO・・・International Hydrographic Organization)

目的：船舶交通の安全に不可欠な海図の刊行などの水路業務の重要性を広く一般の人々に啓発

世界各地で、世界水路の日のテーマに沿った様々な事業が開催されます。今年のモナコ公国で開催されるIHO主催の「世界水路の日」祝賀行事には、世界一周の遠洋航海実習中の海上保安庁巡視船「こじま」が参加予定です。

2015年「世界水路の日」テーマ

「探査・海図化を待つ私達の海と航路」

海図等により航海安全のために収集され提供される水深、海底地形、潮汐、海の流れなどの情報は、様々な海洋の利用・開発、環境保全や防災など基礎資料として活用されています。

一方、海洋では、まだまだ月や火星以上に測量・探査されず、未知の海域が多く残されています。

IHOとは？

IHOは、海図等の水路図誌の統一により航海を一層容易かつ安全にすることを主な目的とする国際機関です。

加盟国数：85カ国(2015年6月現在)

事務局：モナコ所在
海上保安庁職員1名が勤務

総会：5年に1度、加盟国や関係機関が参加する「国際水路会議」をモナコで開催



青地の国がIHO加盟国



第5回臨時国際水路会議(2014年10月)

